

# みらいをつくる

発行：泉佐野市教育委員会  
教育部【2021年9月17日】



## This is My Favorite Place 長南小学校

1学期、長南小学校において、6年生の外国語科の公開授業が行われました。緊急事態宣言中だったため、集合開催は行わず、他校の教員はオンラインで授業を参観しました。

当日の授業はUnit3 "My town is beautiful."という単元で、わたしたちの町のおすすめの場所を紹介するという内容です。当日は、6年生が5年生にむけて英語によるプレゼンテーションを行いました。5年生が社会科で都道府県を学習することを踏まえ、先輩の6年生がおすすめの都道府県や、おすすめする理由を英語で発表しました。

チャイムと同時に、5年生、6年生が体育館に集合し、授業のねらいや流れを確認するところから授業は始まりました。少し緊張した様子の5年生に対し、6年生は早く発表したくてそわそわしている様子でした。

発表は各ブースに分かれ、班ごとに行われました。いざ発表が始まると、6年生がそわそわしていた理由がよく分かりました。あらかじめ用意されたポスターの文を読み上げるだけではなく、驚くほどいきいきとしたジェスチャー付きのプレゼンテーションで、5年生も一気に笑顔になりました。例えば、ある県の温泉を紹介した時には、班のみんなで頭にタオルを乗せて温泉に入るジェスチャーをするなど、各班で工夫を凝らした発表が行われました。

5年生は聞きとった内容についてメモをとります。まだ習っていない英語表現もありましたが、6年生のジェスチャーや、ポスターのイラスト、書かれている英文等を頼りにしながら、たくさんメモを取っていました。

5年生が6班全て回り終えるとプレゼンテーションは終了です。6年生は6回同じ発表をしたことになりませんが、その6回のうちにどんどん改善され、自信がついていったように見えました。

授業後のふりかえりでは、「5年生が真剣に聞いてくれてうれしかった」「自分なりにめっちゃがんばったから100点」という6年生の感想や、「自分も6年生みたいに堂々と発表したい」といった5年生の感想が聞かれました。

オンラインで参観していた教員からも「子どもたち一人ひとりが、自信をもって大きな声で伝えている様子を見て、英語を楽しんでいることが伝わりました。」等の感想があり、英語を楽しむ雰囲気はオンラインでも十分に伝わったようでした。

「子どもたちに自信をつけさせたい」という教員の願いから始まった今回の授業。今後もコミュニケーションを楽しむ子どもたちを育てていってほしいと思います。



## Welcome to Japan ALTs 第二小学校

1学期、第二小学校に5名のALTが集合しました。6年生の外国語、「Welcome to Japan」という単元の授業に招待してもらったためです。子どもたちはALTのみなさんに日本の文化を紹介するために、各班でテーマを決めて調べ学習をし、ポスターに仕上げ、スピーチの練習を重ねてきました。

外国語担当の教員が「ついにこの日がやってきましたね」と子どもたちに投げかけると、「イエーイ!」と歓声の声。拍手に迎えられ、ALTが登場しました。

まずはALTの自己紹介です。名前、出身国に加え、出身国の文化も少しだけ紹介してくれました。ALTの特技や、日本以外の国の文化を教えてもらう度に、「おお〜」と驚きの声が上がっていました。

「ALTの先生に文化を教えてもらったから、今度はみんなの番ですね。日本のことを紹介しましょう。」という教員の呼びかけとともに、子どもたちはポスターの前にスタンバイ。今まで練習してきた自分の英語が伝わるのか、不安に思っていた子どももいたと思いますが、みんな自信をもって日本の文化を紹介していました。

子どもたちの発表が終わると、次はALTとのフリートークです。日本の遊びについて紹介した班では、「I know shogi, origami and top, but I don't know temari and karuta.」とALTから英語で反応が返ってきます。自分が発表した文化を知っているとされた子どもも、知らないと言われた子どももどちらも嬉しそうにしていました。さらに、「Do you like origami?」などと質問も返ってきます。はじめはとまどいながら、「Yes, I do.」などと答えていた子どもたちですが、やりとりを繰り返す中で、質問されている内容や答え方が分かってきた様子で、まさに生きたコミュニケーションが英語で行われていました。また、フリータイムに自国の文化を写真などで紹介してくれたALTもいて、子どもたちにとってはとても良い交流の場となりました。

子どもたちのふりかえりには、「発表をしている時にうなずいてくださったり、"Hello"と返してくださったり、自信を持つことができました。」「ALTの先生はみんな"Do you know sushi?"と聞いたら"Yes"と答えてくれたからよかった。」「いろいろな国の文化を知れたので、その国に行きたくなりました。」等、非常に有意義な時間を過ごしたことがうかがえる感想がたくさん見られました。

言語を学ぶだけでなく、日本の文化や外国の文化を知ることや外国の方と出会うことも、外国語の授業の醍醐味であると思えた授業でした。

※ALTとは、Assistant Language Teacher の略で、外国語指導助手のことです。

